

会 議 録

会議名	令和8年度 第1回小山地区まちづくり会議		
事務局 (担当課)	中央区役所中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049 (直通)		
開催日時	令和8年5月12日 (火) 19時00分～20時30分		
開催場所	小山公民館 大会議室		
出席者	委員	20人 (別紙のとおり)	
	その他	4人 (中央区長、中央区副区長、中央区役所区政策課長、 中央区役所地域振興課長)	
	事務局等	4人 (中央6地区まちづくりセンター所長ほか3人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開 会 2 来賓あいさつ 3 役員を選任について 4 会長あいさつ 5 委員自己紹介 6 事務連絡 (1) 小山地区まちづくり会議について (2) 地域活性化事業交付金について 7 議 題 (1) 地域活性化事業交付金の実績報告と申請事業について ・小山地域の人と人をつなげるプロジェクト ・小山中ハロフェスプロジェクト ・手しごとでつながるコミュニティの場 (てとてと) 事業 8 閉 会		

議 事 録

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、△は申請団体の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

事務局が開会

2 来賓あいさつ

福井中央区長のあいさつの後、中央区役所の職員を紹介した。

3 役員を選任について

小山地区まちづくり会議会則第7条の規定に基づき、次のとおり役員を選任した。

会 長	入谷 利郎 (小山地区自治会連合会 会長)
副会長	星 清次 (小山公民館 館長)
	遠藤 秀雄 (小山地区社会福祉協議会 会長)

4 会長あいさつ

入谷会長からあいさつを行った。

5 委員自己紹介

令和8年度小山地区まちづくり会議委員による自己紹介を行った。

6 事務連絡

(1) 小山地区まちづくり会議について

事務局から資料に沿って、次の事項について説明を行った。

- ・概要について (会則、傍聴規程)
- ・令和8年度の開催日程
- ・実施状況、令和8年度の実施内容

<主な意見・質疑>

○相模原駅北口地区について、現時点の進捗を伺いたい。

⇒●国に対しては、相模原駅北口地区土地利用計画を財務省へ提出した段階である。その後の動きについては、随時担当課へ確認していく。

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局から資料に沿って、地域活性化事業交付金の概要及び令和8年度からの制度改正について説明を行った。

<主な意見・質疑>

特になし。

7 議 題

(1) 地域活性化事業交付金の実績報告と申請事業について

継続事業3件について、それぞれ申請団体から事業の企画提案に至った背景や実施内容などを含めて、申請内容全般について説明が行われた。

■小山地域の人と人をつなげるプロジェクト

<主な意見・質疑>

○昨今の高齢化等の課題に対し、さまざまなメニューを用意し展開している本事業は、地域のつながりや交流を深められるものである。また、当交付金の交付終了後の展開についても、検討いただきたい。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

■小山中ハロフェスプロジェクト

<主な意見・質疑>

○あいさつは人と人とのコミュニケーションの基本となるものである。本事業を継続し、小山地区をより明るくしていただくとともに、関連団体のイベントにも積極的に参加をお願いしたい。そして「あいさつが盛んな小山地区」となることを期待する。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

■手しごとでつながるコミュニティの場（てとてと）事業

<主な意見・質疑>

○地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」という）でも脳の活性化に関する事業等を実施している。地区社協とのつながりはどのように考えているか。本事業は地区社協の活動の参考にもなるし、連携も検討できると思う。

⇒○私も本事業の構成委員である。昨年度に地区社協のサロン等において、本事業を周知することが検討されたが、地区社協の都合で実施には至らなかった経過がある。

○質問が3点ある。始めに、参加者の材料費は無償なのか。参加実績の割に消耗品費が高いと思う。

次に、実施場所は久保原地域のみなのか。地区民生委員児童委員協議会としても本事業に協力できると思うので、一定の地域に留まらず徐々に拡大していただきたい。

最後に、子どもを対象としたイベントを企画していることについて、よい試み

だとは思うが、針を使用する事業のため、怪我の恐れがあるのではないか。保険料は計上されているが、そのことについてどのように考えているのか。

⇒△まず、参加費はいただいておりますが、材料は当交付金で購入している。今年度の材料については、昨年度購入した分の在庫があるため、申請額を昨年度より減額している。

次に、実施場所は現在久保原地域のみであり、他の地域団体においても活用されている施設を、施設使用料を支払い借用している。ご意見のとおり、多くの方に参加していただけるよう、小山地区のさまざまな場所としたいが、保険加入のためには実施場所を事前に確定する必要があり、現時点では対応できていないため、今後の検討課題としている。

最後に、針の使用について、事業を実施している中で「針で作品を作ることが苦手」という声もあったことから、針を使わない作品作りを既に実施している。昨年度においても子どもの参加者が数名いたが、針を使わず作品を作った。

○本事業は外出しづらい高齢者等の孤独化を防ぐ手助けになるものである。昨年度は久保原地域のみで実施されたが、本事業はまだ2年目である。まずはご近所の方を中心として実施していただき、徐々に事業を拡大し、小山地区全体に展開していただけることを期待する。また地区社協等との連携についても検討いただければと思う。

<結果>

積極的に採用すべき事業とする。

8 閉 会

星副会長のあいさつにより閉会した。

以 上

小山地区まちづくり会議委員出欠席名簿

令和8年5月12日開催

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	入谷 利郎	小山地区自治会連合会	会長	○
2	関口 邦夫	宮下自治会		○
3	徳永 三朗	すすきの自治会		○
4	亀田 浩代	すすきの向陽自治会		○
5	若井 一朗	向陽町自治会		○
6	丸山 和加恵	久保原自治会		○
7	中島 幸英	自治会法人 氷川町自治会		○
8	岩崎 義之	相模原駅前自治会		○
9	阿部 利和	東第一自治会		○
10	佐藤 薫	丸山自治会		○
11	星 清次	小山公民館	副会長	○
12	川口 久美	小山公民館		○
13	宍戸 佳子	小山公民館利用者懇談会		○
14	遠藤 秀雄	小山地区社会福祉協議会	副会長	○
15	江口 基明	小山地区社会福祉協議会		○
16	小池 美恵子	小山地区民生委員児童委員協議会		○
17	米山 恭子	青少年健全育成協議会		○
18	宮崎 良雄	防犯指導員		○
19	加藤 秀子	相模原交通安全協会小山支部		○
20	中村 悠一	向陽小学校PTA		欠席
21	藤原 幸恵	小山中学校PTA		欠席
22	松橋 真奈美	小山地域包括支援センター		○
23		学識経験者		